

公益財団法人 サントリー芸術財団 音楽事業部

107-6019 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル19階 私書箱509号 Tel: 03-3582-1355 Fax: 03-3582-1350

Nosfa0053 (2022.4.4)

**第21回（2021年度）佐治敬三賞は
「オーケストラ・ニッポニカ第38回演奏会
松村禎三交響作品展」
「オペラ『ロミオがジュリエット』世界初演」に決定**



(C) 澁谷学

「オーケストラ・ニッポニカ第38回演奏会
松村禎三交響作品展」



(C) 金サジ

「オペラ『ロミオがジュリエット』世界初演」

公益財団法人サントリー芸術財団（代表理事・堤 剛、鳥井信吾）は、わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈る「佐治敬三賞」の第21回（2021年度）受賞公演を「オーケストラ・ニッポニカ第38回演奏会 松村禎三交響作品展」「オペラ『ロミオがジュリエット』世界初演」の2公演に決定しました。

●選考経過

応募のあった2021年実施公演について2022年2月12日（土）オンライン選考会を開催。慎重な審議の結果、第21回（2021年度）佐治敬三賞に「オーケストラ・ニッポニカ第38回演奏会 松村禎三交響作品展」「オペラ『ロミオがジュリエット』世界初演」の2公演が選定され、3月31日（木）の理事会において正式に決定された。

●賞金 200万円 今回は同時受賞につき各100万円が贈られる。

●選考委員は下記の 8 氏

伊藤制子、伊東信宏、片山杜秀、白石美雪、長木誠司、野々村禎彦、
船木篤也、水野みか子 (敬称略・50音順)

●受賞公演 1 (開催日順)

「オーケストラ・ニッポニカ第 38 回演奏会 松村禎三交響作品展」

<贈賞理由>

オーケストラ・ニッポニカの「松村禎三交響作品展」は、《ピアノ協奏曲第 1 番》(1973)、《ゲッセマネの夜に》(2002/2005)、《交響曲第 1 番》(1965) を優れた演奏で聞かせ、昭和の巨匠の思考と感性を今の時代に突き付けた。

三つの作品は作曲年代が離れており、互いの語法に隔たりがあるが、60-70 年代の松村の若いエネルギーが《ゲッセマネ》の熟したオーケストレーションと別物だというような印象を与えることはない。昭和の後半を駆け抜け、西欧前衛の影響を受けながら常に日本という皮膚感覚を強く意識し、個の確立を保ち続けて、技法以上の大きな世界観を打ち立て、神がかり的な書きぶりに至っている。その筋道が野平一郎指揮のオーケストラ・ニッポニカによってくっきりと浮かび上がった。

構造の不確かさは、個性的でユニークな対比や音形の連関に置き換えられる。フランス的語法に依りながらも、響きの追求というよりはむしろ構成上の節目に沿って楽器のメリハリをつけ、本来の意味でのオーケストレーションの多様性を掘り起こしている。特に《ピアノ協奏曲》では渡邊康雄の風格あるソロが求心的な核となり、この作品が 80-90 年代に一世を風靡した現代日本独特のオーケストレーションの先駆であることが浮き彫りになった。

特殊奏法や倍音を異化する今日的響きのつくりとは異なり、ピッチの中で音色を作り、いわゆるハーモニー化された響きを反復音型の中で時間上に紡いでいく《交響曲第 1 番》は、今回の演奏によって特別に新しい局面をあらわにした。楽器間のバランスやフレーズの中のアクセントの妙味によって決して平板ではないテクスチャが打ち出され、指揮を担当した野平自身の音色感もあいまって新たな陰影が生まれ、これまでに聞いたことのない印象が松村作品から引き出された。

昭和の偉大な遺産を、あえて今日的な音響感のフィールドに置き、チャレンジ精神をもって取り組んだオーケストラ・ニッポニカ第 38 回演奏会は、作品の新たな価値を導き出しており、佐治敬三賞にふさわしい公演であった。

(水野みか子委員)

<公演概要>

名 称：「オーケストラ・ニッポニカ第38回演奏会 松村禎三交響作品展」

日 時：2021年7月18日（日）14：30

会 場：紀尾井ホール

曲 目：松村禎三 ピアノ協奏曲第1番（1973）

「ゲッセマネの夜に」（2002／2005）

交響曲第1番（1965）

出 演：指 揮 野平一郎

ピアノ 渡邊康雄

管弦楽 オーケストラ・ニッポニカ

主 催：芥川也寸志メモリアル オーケストラ・ニッポニカ

●受賞公演2

「オペラ『ロミオがジュリエット』世界初演」

<贈賞理由>

オペラ《ロミオがジュリエット》は、足立智美が台本と作曲を、あごうさとしが演出を担当し、太田真紀の独唱、山田岳の演奏で初演された。自身、声や身体や自作楽器、電子機器を用いて演奏の現場に携わるパフォーマーである足立は、今回シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』を学習させたAIによってネット上からこの原作に関する情報を集め、新たなテキストを生成させ、さらに邦訳させたものを基本的なテキストにした。その方法論は、足立による再編成を経ることによって、結果的に原作に依拠しつつも、まったく新しいオペラ台本を産み出したが、それは原作を換骨奪胎して新たなテキストを産み出すジェイムス・ジョイスやハイナー・ミュラーのような文学的・演劇的手法をAIとインターネットという今日的メディアを介して行ったものとも言える。その意味でこれは、ベケットの『しあわせな日々』を参照点とし、アングラ劇のイメージとも交差しつつ行われたあごうによる演出とあわせ、シェイクスピア作品を活かしつつ再創造した現代的な作品として、舞台創作史上にも確固たる位置づけを与えられるものでもある。

さまざまな文体とちぐはぐで荒唐無稽な意味内容からなるテキストから、太田は持ち前の多彩な声と声楽技術を駆使して、万華鏡のような語りと歌の世界を作り出し、山田はアヴァンポップからルネッサンス期のリュート音楽、最新のギター手法と前衛手法を横断する足立の音楽に対し、アコースティックギター、電気ギター、リュートを超絶的な技巧をもって自在にこなしながら、自らステージの一員として参画した。両者による総合的な舞台効果は観るもの・聴くものを圧倒した。

舞台作品の今をさまざまな観点から俯瞰し集約しつつ、新たな創作と秀逸な上演が行われたという成果から、本公演を2021年度の佐治敬三賞に相応しいものと評価するが、松村禎三作品への新鮮なアプローチを行った野平一郎とオーケストラ・ニッポニカの演奏会も本公演に勝るとも劣らない成果を上げたという理由から、2公演の同時受賞となった。

(長木誠司委員)

<公演概要>

名 称：「オペラ『ロミオがジュリエット』世界初演」

日 時：2021年11月5日（金）19：00

6日（土）14：00、18：00

7日（日）14：00

会 場：THEATRE E9 KYOTO

作 曲：足立智美

台 本：GPT-2（原作 ウィリアム・シェークスピア「ロミオとジュリエット」）

演 出：あごうさとし

出 演：太田真紀、山田岳

曲 目：オペラ『ロミオがジュリエット』ソプラノ、ギター、電子音響のための
（2021 太田真紀&山田岳委嘱 世界初演）

アフター・トーク：11月5日（金）足立智美

11月6日（土）太田耕人（昼）、小崎哲哉（夜）

11月7日（日）三輪真弘

企画・主催：太田真紀&山田岳

以 上

(ご参考)

佐治敬三賞について

公益財団法人サントリー芸術財団(代表理事・堤 剛、鳥井信吾)は、故・佐治敬三(サントリー元会長、サントリー音楽財団元理事長)の功績を記念して、2001年度(平成13年度)から「佐治敬三賞」を創設しました。

この「佐治敬三賞」は佐治の音楽への深い愛情と理解およびチャレンジ精神、パイオニア精神を承継し、新しい世紀のわが国における音楽公演活動の一層の振興を願って、氏の名を冠した新しい賞として制定されました。

この賞は、毎年わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈られるもので、応募のあったものの中から選定されます。賞金は200万円です。

故・佐治敬三は、早くから文化事業への支援に力を入れ、特に音楽界においては1969年(昭和44年)に鳥井音楽財団(現サントリー芸術財団)を設立、サントリー音楽賞をはじめとするわが国の洋楽の振興を目的とした諸事業のほか、東京初のコンサート専用ホール「サントリーホール」の建設・運営などを行ってきました。

1999年11月3日に急逝した佐治の遺族から“音楽界のために役立ててほしい”として遺産の一部が寄付されたことから、当財団で検討した結果、「佐治敬三賞」の創設にいたりました。

これまでの受賞公演

第1回(2001年度)

「篠崎史子 ハープの個展 VIII ～新たな領域を求めて～」

2001年10月19日 東京文化会館 小ホール

「Just Composed 2001 in Yokohama ～現代作曲家シリーズ

～大野和士が描く新世紀の音楽絵巻」

2001年8月31日 横浜みなとみらいホール

第2回(2002年度)

「アンサンブル・ノマド2002年度定期演奏会#1」

2002年9月17日 東京オペラシティ リサイタルホール

第3回(2003年度)

「現代の音楽展2003 室内オーケストラの領域 III」

2003年3月17日 東京文化会館 小ホール

第4回（2004年度）

「三井の晩鐘」

2004年10月24日 イシハラホール

第5回（2005年度）

「next mushroom promotion vol. 8 『細川俊夫～50年のランドスケープ』」

2005年10月15日 ムラマツリサイタルホール新大阪

第6回（2006年度）

「武生国際音楽祭2006」

2006年9月2日～10日 越前市文化センター 他

第7回（2007年度）

「フランス現代音楽からの潮流～井上麻子×藤井快哉DUO」

2007年11月17日 兵庫県立尼崎青少年創造劇場 ピッコロシアター

第8回（2008年度）

「実験室 vol.2 『偽のアルレッキーノ／カンパネッロ』」

2008年3月27日・28日 ミレニアムホール

第9回（2009年度）

「クロノイ・プロトイ 第5回作品展～弦楽四重奏の可能性」

2009年12月9日 東京オペラシティ リサイタルホール

第10回（2010年度）

「井上郷子^{きょうこ}ピアノリサイタル#19 モートン・フェルドマン作品集」

2010年2月28日 東京オペラシティ リサイタルホール

「東京シンフォニエッタ第28回定期演奏会 湯浅譲二特集」

2010年12月10日 東京文化会館 小ホール

第11回（2011年度）

「林千恵子メゾソプラノ・リサイタル『アペルギス&グロボカール』」

2011年7月27日 門仲天井ホール

「児玉桃ピアノ・ファンタジーvol.1」

2011年9月17日 京都府立府民ホール “アルティ”

2011年9月19日 東京文化会館 小ホール

第12回（2012年度）

「kuniko plays reich in Kyoto」

2012年3月18日 京都芸術センター 講堂

「Sep.5 2012 Thanks to John Cage」

2012年9月5日 サントリーホール ブルーローズ

第13回（2013年度）

「東京現音計画#01～イタリア特集I：

コンポーザーズセレクション1・杉山洋一」

2013年9月13日 杉並公会堂 小ホール

「^{とうほうきたん}東方綺譚 “Nouvelles Orientales de Marguerite Yourcenar”」

2013年10月26日 津田ホール

第14回（2014年度）

「鈴木俊哉 リコーダー リサイタル《細川俊夫ポートレート》」

2014年2月11日 淀橋教会・小原記念チャペル

「ニンフェアール第10回公演 東洋と西洋の絃」

2014年7月20日 宗次ホール

第15回（2015年度）

「トム・ジョンソン《4音オペラ》」

2015年3月25日 杉並公会堂 小ホール

2015年3月28日 愛知県芸術劇場 小ホール

「DUOうたほぎリサイタル2015－春夏秋冬－」

2015年12月17日 東京オペラシティ 近江楽堂

2015年12月23日 青山音楽記念館 バロックザール（京都）

第16回（2016年度）

「伶楽舎第十三回雅楽演奏会～武満徹『秋庭歌一具』」

2016年11月30日 東京オペラシティ コンサートホール

第17回（2017年度）

「三輪眞弘+前田真二郎 モノログ・オペラ『新しい時代』」

2017年12月8日・9日 愛知県芸術劇場小ホール

2017年12月16日 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

第18回（2018年度）

「第三回 伊左治直 個展 ～南蛮劇場」

2018年12月2日 求道会館（東京都文京区）

第19回（2019年度）

「THE 鍵 KEY（ザ キー）」

2019年5月19日・25日・26日

旧平櫛田中邸アトリエ（東京都台東区）

第20回（2020年度）

「ペルセポリス ～秋吉台で聴くテープ音楽～」

2020年9月5日 秋吉台国際芸術村 ホールおよび中庭

「ぎふ未来音楽展2020 三輪眞弘祭 一清められた夜」

2020年9月19日 サラマンカホールよりライブ配信

第22回（2022年度）「佐治敬三賞」応募について

2022年1～6月実施公演の応募受付は終了しました。

2022年7～12月実施公演の応募方法は以下のとおりです。

- ・対象公演 2022年7月1日から12月31日の間に国内で実施される音楽を主体とする公演。
- ・応募方法 所定の応募用紙にて応募いただきます。公演の記録映像、録音、印刷物などがある場合は資料として提出いただく場合があります。応募要項・用紙は、当財団ホームページからダウンロード下さい。
- ・応募期間 2022年3月1日（火）から4月30日（土）
- ・お問合せ先 公益財団法人サントリー芸術財団 音楽事業部
〒107-6019

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル19階

私書箱509号

電話（03）3582-1355

FAX（03）3582-1350

<http://suntory.jp/sfamusic/>

以 上